

西千葉学園通り“みんなのみちばた”プロジェクト 千葉大学との連携により「まちいす」を設置します！

千葉市では、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成による都市の再生を図るため、これまでの「車中心」から「ひと中心」へと転換するウォーカブルなまちづくりを推進しています。

このたび、地域の方々が主体となって、「みちの使い方」や「まちの将来」を考え、実行する社会実験「西千葉学園通り“みんなのみちばた”プロジェクト」の一環で、千葉大学との連携の下、西千葉学園通りの歩道部に、信号待ちや店舗のテイクアウトなどで気軽に座ることのできる「まちいす」を設置しますので、お知らせします。

1 設置日

令和5年9月6日（水）15：00～17：00 ※雨天中止
（予備日 9月8日（金）9：00～11：00）

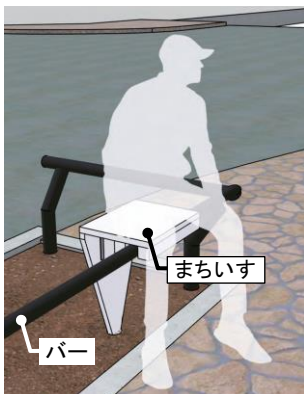
2 設置箇所数

10カ所（計12基）※下図の赤丸部分



3 「まちいす」の概要

千葉大学松浦研究室の学生がデザイン・形状について検討し、歩道の植栽帯のバーを活かした「まちいす」の設計を実施。市内の伐採樹木を再利用（スライス）し座面を製作。地元の子どもたちが色塗りを行うワークショップなどを経て、このたび設置します。



まちいすの設置イメージ

色塗りワークショップの様子

(参考) 西千葉学園通り「みんなのみちばた」プロジェクトについて

1 社会実験の目的

西千葉学園通りにおいて、地域の方々が主体となり、「みちの使い方」や「まちの将来」を考え、実行する「西千葉学園通り”みんなのみちばた”プロジェクト」を実施する。

まずは、歩道の植栽帯にベンチを置くことから始め、公共空間の利活用の可能性を検証するとともに、将来的には活動の輪と幅を広げていくことを目指す。



PROJECT

プロジェクトのロゴマーク

2 実施期間

令和4年5月1日～令和6年4月30日（2年間）

3 実施主体

みんなのみちばたプロジェクト実行委員会、千葉市（共催）

<実行委員会の構成員>

NPO法人Drops、緑町1丁目自治会、沿道店舗

<実行委員会発足の経緯>

西千葉学園通りの植栽帯には、アガパンサスが植えられています。これらは、無電柱化の道路工事を行った際に、地域の方々によって植えられたもので、草取りやごみ拾いなどの日常管理が10年以上継続して実施されています。

実行委員会は、このアガパンサスの日常管理によって生まれた「地域のつながり」から発足しました。

4 これまでの取り組み

・「みちばた空間」の創出

令和4年6月、西千葉学園通りの歩道（植栽帯）に、ベンチ等から構成される「みちばた空間」を3カ所設置しました。※今後増設予定



みちばた空間



みちばた空間の利用の様子

<みちばた空間の構成>

- ①ベンチ：地域の建材店から提供された材料によって自作
- ②スツール：千葉市内の伐採樹木を再利用
- ③瓦チップ：令和元年の房総半島台風で被災した瓦を再利用